



## A先生の新語コーナー



### fùmiàn qīngdān “负面清单”

ネガティブリスト。原則自由とし、その中で認められないものを一覧化する方式。中国は市場参入についてネガティブリスト制度を導入することになった。このリストは参入禁止類と参入制限類を含み、国務院が統一的に作成、発表する。リストには禁止、制限する業種、分野、業務などが明確に列挙される。2015年から2017年までの間に一部地区で試行し、2018年から全国統一の市場参入ネガティブリスト制度を正式に実施する予定。

(A)

## 日中友好会館訪華団訪中報告 学院長 吉田隆司

11月末に、日中友好会館の理事と中国大使をはじめとする大使館の皆様と懇談する機会がありました。その翌日、日中友好会館中国代表理事を通じ、日中関係改善、相互理解の一助として、日中友好会館の職員及び日中学院で学ぶ皆さんを、今年中に中国に招待したいというお話しをいただいたのです。急なお話しであること、年末であること、パスポートの取得等の手続きもあり多くの方に行っていただけるか大いに心配だったのです。しかし、中国側のこの熱意に応えることに全力を尽くすことにしました。申し込み締め切りを航空券

予約最終期限ぎりぎりまでにし、多くの方に参加していただくことを考えました。ところが蓋あけてびっくり、定員の3倍近い方にお申し込みいただきました。そのため、多くの皆様にご参加いただけなかったという結果になりました。

日中友好会館訪華団は(特別顧問:江田五月会長、団長:片寄浩紀理事、副団長:吉田隆司理事・日中学院長、日中学院スタッフ:早瀬、

日中友好会館訪華団 日程表 2015年12月

日時	活動内容	宿泊
12/23 水	8:40 羽田空港より出発	南京
	10:30 上海浦東国際空港到着	
	午後 昼食後、南京へ移動	
	18:00 ホテル到着	
	19:00 夕食会 江蘇省政府主催	
12/24 木	8:30 ホテル出発	蘇州
	市内観光(南京大屠殺記念館、夫人廟、中山陵)、昼食	
	15:00 蘇州へ移動(バス 約3時間)	
18:00 蘇州到着、夕食		
12/25 金	9:00 ホテル出発	上海
	市内観光(寒山寺、拙政園、平江路古街)	
	13:30 昼食後、蘇州工業団地へ(日系企業見学)	
	15:00 上海へ移動(バス)	
18:00 夕食 黄浦江ナイトクルーズ		
	13:05 MU539にて上海浦東国際空港より出発	
	16:50 羽田空港到着	

浜田、高木、総勢:50名)は12月23日~12月26日まで、南京、蘇州、上海を上記の日程で参観、訪問をしました。さらに出発前の12月21日には、駐日中国大使館にて壮行会が行われ、程永華大使などが出席されました。

南京での歓迎夕食会は張雷江蘇省副省長が主催されました。日中学院張蕾先生は女性ですが、こちらは男性、何度も企業人として日本を訪問されたことのある知日家でした。団員は5つのテーブルに別れ、その各テーブルには南京大屠殺記念館の2日目、南京大屠殺記念館を訪問しました。日中学院は30年前110名で、この記念館が完成したばかりの時に参観したことがあります。現在は、新しく大きくなっていました。記念館で記帳を求められた江田特別顧問は、大勢の参加者が囲む中「前事不忘、後事之師」と記されました。

運河・庭園の都・蘇州では、名園「拙政園」を散策できました。更に蘇州工業園区という特区にある「AW(蘇州)汽車技術中心有限公司」を見学コースに組み入れてあったことに、この団に対する中国側の配慮を感じました。上海では外灘と浦東新区の美しい夜景を眺めながら約1時間の黄浦江クルーズでした。3泊4日という慌ただしい日程でしたが、中国理解のための配慮が感じられる旅でした。団員のみなさんいかがでしたか?



## 訪華団の思い出 別科 片桐拓人

今回訪れた三都市はいずれも歴史的に日本との関係が深い地域ではあるが、個人的にはこれまで上海より長江を遡って足を延ばしたことが無かった。また、50人という大人数での旅行も中学生以来の経験であった。

初日に開催された南京での食事会では、地元の大学で日本語を学ぶ学生たちと交流する機会を得た。日本語がとても上手なのに、聞けばまだ日本に行った事が無いと言う。行った事の無い国の言語を学び、ネイティブと歓談できるレベルにまで達するには、相当な努力と自制心が要るだろう。ましてや過去に不幸な歴史のあった相手国の言語である。卒業後は日本企業で働きたいと話す笑顔に、応援したくなるような親近感を覚えると同時に、どこか救われたような気持ちになった。

二日目の南京大虐殺記念館では、数多くの資料を目にすることができたが、その多くがかつて自分が学校で受けた歴史の授業や、日本国内の報道では目にしたことのないものであった。館内を見て歩くうち、前日に会った南京の大学生の笑顔がふと頭に浮かび、明確な謝罪と和解が実現していない現状を情けなく思う気持ちでいっぱいになった。

三日目に訪れた拙政園は自分にとって初めて訪れる明代の庭園だったが、その広大さと趣の深さに思わず溜息が出た。日本でも目にすることのある亭、台、楼、閣という名称が、もともとは建物の規模を区別するものだけということ、今はガラス

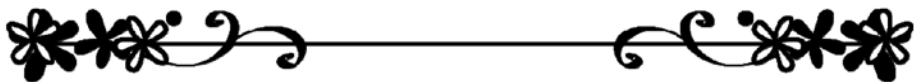
張りとなっている庭園の建物の窓にはかつては絹布が張られていたことなど、歴史の奥深さを感じる話も聞くことができた。



蘇州工業園區にて

今回の旅では日本と関わりの深い街を自分の目で見ることができ、また、中国で日本語を学ぶ現地の学生や、授業では顔を合わすことのない方たちとの出会いにも恵まれた。

3泊4日で三都市を巡るという慌しさではあったが、一人旅では得ることのできない貴重な経験となった。機会を得ることができれば他の街にも訪れてみたい、そう思わせる素晴らしい旅であった。



### 第19回日中学院倉石賞受賞式のご案内

#### 受賞者：公益財団法人国際文化フォーラム（TJF）殿

2015年度の日中学院倉石賞の授賞式が下記の日程で行われます。当日は受賞者の活動報告などもありますので、是非多くの皆様のご参加をお待ちしております。

#### 公益財団法人国際文化フォーラム（TJF）とは？

日本の高校における外国語教育とりわけ中国語教育に力を入れ推進し、さらには海外の小中高校における日本語教育のサポート、異なることばや文化背景をもつ中高生の交流の実現などの活動を行っています。

受賞式：2016年2月20日（土）16：00～

場所：日中学院内

内容：受賞者の基調報告

参加をご希望の方は、当日教室までお越し下さい。

2015年11月27日

## 日中文学シンポジウム「食と文学」報告

小金井京子

日中友好会館地下ホールで「食と文学」と題したシンポジウムが開催されました。長年にわたり中国の作家との交流事業を行ってきた日本ペンクラブが今年の日中学院との共催で行ったものです。中国作家代表は午前中に日中学院の見学をし、図書室では彼らのところにもないような古い資料や書籍が学院にあることに驚き、また授業見学では、とても熱心な様子で学生たちと直接交流をとっていました。そのあと、快晴の空の下、本科研究科の学生のガイドで小石川後樂園を散策、涵徳亭で昼食となりました。

平日の午後1時半からということで来場者の数が心配されましたが、大勢の方に来ていただくことができました。シンポジウムは、60年代に老舎や謝氷心も学院を訪問していたことを紹介する吉田学院長の話に始まり、日本ペンクラブ会長の浅田次郎氏と作家代表団の許輝団長の基調講演、後半のパネルディスカッションの5名の中国人作家の食にまつわる話もたいへん興味深いものでした。通訳は主にサミュエル周氏が担当。氏の見事な双方向の通訳に学生、講師とも感心しきりで、3時間もあっという間の収穫の多い会となりました。



- ①作家代表団の許輝団長の基調講演
- ②作家代表団と小石川後樂園を散策
- ③日本ペンクラブ会長浅田次郎氏基調講演
- ④パネルディスカッション
- ⑤通訳のサミュエル周氏



## 日中学院創立65周年記念

# 江口洋子氏講演会「台湾映画の最前線&私の台湾」

アジアパラダイスなどを主宰し、華流の火付け役でもある江口さんに、台湾を中心に話題の映画やドラマ、スターの近況、大陸との合作の状況、映画『KANO 1931海の向こうの甲子園』の製作・宣伝の舞台裏、台湾留学の経験など、映像も交えたつづり語っていただきます。

今回は対談トークショー形式です。大陸にも大きな影響を与えている台湾文化。ホットな話題、映像も盛りだくさんです。どうぞお見逃しなく！

**日時：2016年2月20日（土）13:00～15:00**

**場所：日中学院302・303教室**

**受講料：500円（当日お支払いください）**

**定員：50名** ※ご希望の方は事前に事務局窓口にてお申込み下さい。

**講師：江口洋子氏**

**司会：樋口裕子先生（日中学院講師、翻訳家、エッセイスト）**

### 江口洋子氏

元文化放送ディレクター。映画番組ナビゲーター、プロデューサーとしてアジアエンタメ番組などを制作し、現在はフリー。

2010年より2013年まで語学留学を兼ねて台湾に在住。現在は東京を拠点とし、東京と台北を行ったり来たりしながら映画・イベント等のコーディネーター、記者、ライターなどとして幅広く活動。



## ～中国語五七五～

成人节之前 请人化妆整发型 期望早到来

浅见温子

上智大学语言与文化选修课二年级学生的作品。她每天一首，乐此不疲，已坚持近三个月。“前撮り”（成人节前事先拍照留念）这个词是从她的这首汉语五七五中得知。语言朴实，情景生动，充满希望，催人奋进。

举头看落日 我思古都是什么 低头看京都

藤井菜菜子

上智大学公共外语课一年级学生的作品，在汉语五七五评选会上荣获第一。黄昏游览京都名胜清水寺，感慨万千。古都夕阳，美景依旧。至于古都为何，还是静候明月的解答吧。

我想吃美柿 日本人爱吃水果 秋天美食多

龟井美里

同是上智大学公共外语课一年级学生的作品。日本的秋天，景美，让人流连忘返；食美，让人百吃不厌。“美柿”“美食”谐音幽默，更让人食欲大增。

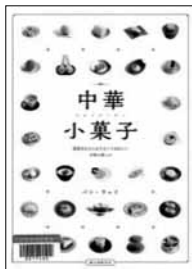


# 図書室 だより

今月は図書室に最近配架されました図書の紹介をいたします。

## ●『中華小菓子』

身体がよるこぶ小さくてかわいい甘味の楽しみ パン・ウェイ著 誠文堂新光社



中国家庭料理 研究家 パン・ウェイさんによる、中国のお菓子のレシピ本。おなじみの杏仁豆腐やエッグ

タルト、揚げ胡麻団子、マーラーガオなど、中国の食養生に詳しいパンさんの、おいしくて身体に優しいお菓子のオリジナルレシピが満載。タイトルにある『小菓子』とは、小さいサイズのお菓子。気軽に家庭で手にとって食べられるサイズです。作り方も写真入りで詳しく順を追って掲載しています。

## ●『中国人と中国経済』

劉軍梅 著 平澤佳代 訳 朝日出版社



著しい発展を遂げる中国。本書は、中国で経済活動しようとする際には、まず中国人の思考習慣、行動様式を理解することが重要で、中国人の行動原理、人との関係を築く際の考え方など、さまざまな角度から体系的にわかりやすく論じています。ビジネス活動に携わっていない人でなくとも、中国の方と交流する際

にもとても参考になります。

## ●『雪花-我和母亲的那些年』 (雪の花～わたしと母の、あのころ)



10月から、NHKラジオテキスト、レベルアップ中国語で連載が始まったエッセイです。筆者は張武静先生、

翻訳・解説は映画の字幕でお馴染みの樋口裕子先生。お二人共本校講師です。

時代は1960年代後半、舞台は北京。5歳の静（ジン）ちゃんを主人公とする母娘の物語です。生きづらい文革の時代を健気に明るく生きる静ちゃん。この姿に胸を打たれ、時に目頭が熱くなります。生き生きした描写は映画を観ているようです。

文革の嵐の中、この母娘に何が待ち受け、2人はどのように生き抜くのでしょうか？ 次の展開がとても気になります。

## ☆その他の新着図書☆

●『知日 第32期 太宰治 生而为人、我很抱歉。(生まれて、すみません)』 中信出版社

●『『中国共産党』論』 天児慧 著 NHK出版

●『日中関係史「政冷経熱」の千五百年』

岡本隆司 著 PHP研究所

●『一角札の冒険』豊小愷児童文学全集 第1巻 豊小愷 著 小室あかね 訳 日本橋報社

●シリーズ・世界史リブレット人

「袁世凱」田中比呂志 著

「陳独秀」長堀祐造 著

「冒頓単于」沢田勲 著

山川出版社

●『中国と日本 批判の刃を己に』張承志 著 梅村坦 監訳 (翻訳協力者 梶田雅美 ※梶田先生は本学院本科で社会の授業を担当されています。) 亜紀書房

●『浅田次郎とめぐる中国の旅』浅田次郎 著・監修 講談社

●『マンチュリアン・リポート』浅田次郎 著 講談社

●『満洲国留日学生の日中関係史』浜口裕子 著 勁草書房

●『日中辞典 第3版』小学館

●『台湾アイデンティティー』DVD ドキュメンタリー映画 酒井充子 監督 マグザム

## ☆寄 贈☆

下記の方より寄贈がありました。御礼申し上げます。

●長澤文子様・盧尤様 (両著者・本学院講師) より

『出るところだけ! 中国語検定 3級合格一直線』

●田原様 (著者) より

『夢の蛇』

●岩本真理様 (共訳者) より

『方言と中国文化』

●馬鴻志様より

『一休和尚』

●中西真様 (訳者・本科研究科卒業生) より

『日本人には決して書けない中国発展のメカニズム』

●李浩様 (著者) より

『変形魔術師』

※李浩さんは、日本ペンクラブ・日中学院共催 日中文学シンポジウム「食と文学」の中国作家代表団の一員として、パネリストとして参加されました。

日中学院図書室 (学院2F奥)  
開室時間: 12:00-18:45 (月一金)  
12:00-18:00 (土)  
お気軽にご利用ください

# 2月の日中学院

日	一	二	三	四	五	六
	1	2 ●本科・日本語科 合同弁論大会	3	4	5 ●日本語科春節 パーティ	6 ●陳淑梅先生 講演会
7	8 ●春節	9	10	11 ●本科・別科・日本 語科 通常授業	12 ●本科2次入試 受付締切	13
14 ●別科・1日集中 講座 ●本科2次入試	15 ●中国語検定 受付締切	16 ●本科2次入試 合格発表	17 ●本科3次入試 募集開始	18	19	20 ●江口洋子先生 講演会 ●本科定期試験 (~26日) ●倉石賞授賞式
21	22 ●日本語科定期 試験(~26日)	23	24	25	26 ●藤堂先生生日	27
28	29 ●ボウリング大会 (本科・日本語科) ●日本語科授業 最終日					
<b>●3月の日中学院</b> ・4日…日本語科成績発表/1年面接 本科授業最終日 ・5日…本研授業最終日 別科公開講座(入門・13:00~) ・6日…本科春休み (~4/9)		・15日…本科・日本語科合同卒業式 ・17日…本科3次入試受付締切 ・19日…本科3次入試 ・21日…別科授業日、本科3次発表、補欠開始 ・22日~26日…春期集中		・25日…別科公開講座(入門・18:45) 補欠締切 ・26日…別科公開講座(入門、基礎・13:00~) 補欠入試 ・27日…中国語検定試験		

## 【耳目】

### ○リニューアルします！

今回、ホームページと別科(週1~3回)の講座のパンフレットを大幅にリニューアルしました！是非ご覧ください！



別科パンフレット



ホームページ

## 「百花繚乱 中国リアリズムの煌めき」東京展

中国政府主催のもと5年に1回開催される「全国美術展」は、中国全土から2万点以上の応募作品が寄せられる最大規模にして、最も権威ある公募展として知られています。本展では、2014年12月に開催された「第12回全国美術展」の受賞優秀作品の中から、更に日本側主催美術館の学芸員が厳選したおよそ80点を展示します。

【会場】日中友好会館美術館

【会期】2016年2月25日(木)~4月10日(日)

\*会期初日2/25は15:00より開幕式・内覧会

【開館時間】10:00~17:00 ※火曜日休館

【拝観料】会期中何度でも入場可能なパスポート券 一般400円(団体割引あり)

大高生200円、中学生以下無料

お問い合わせ:(公財)日中友好会館 文化事業部

電話:03-3815-5085/e-mail:bunka@jcf.or.jp

【中国語笑話】 ちょっと、くすっと笑ってしまうそんな文章で中国語を勉強してみませんか? 楽しみながら、中国語を勉強するちょっとしたきっかけになるかもしれません。

一位拳击运动员得了失眠症，求助于医生。医生让他睡前默念数字。第二天，这位运动员又来了，他对医生说：“你教给我的办法没有用，一数到九，我就跳起来了。”

【幽默汉语】北京语言大学出版社より

【編集後記】 今年の冬は、暖かい冬だと思っていたのに、突然の大雪や大寒波。気候の変動が大きく、暖かい春が待ち遠しい日々です。